

令和4年度 能美市立湯野小学校 学校評価 計画

評価項目	具体的方策	主担者	【評価指標】 ＜成果指標＞＜努力指標＞ ＜満足指標＞	【評価の根拠】 達成度判断基準	取組状況	評価	学校関係者評価者による意見	今後の改善策
1 組織的な 学校運営	①【組織的な教育活動の推進】 主任を中心にPDCAサイクルを機能させ、互いに連携した組織的な教育活動を推進する。	教頭	【努力指標】 主任等を中心にPDCAサイクルを機能させ、互いに連携した組織的な教育活動を推進している。	【教職員アンケート】 「学校経営ビジョン具現化のための各自の役割を認識し、組織的に取り組み、定期的な検証がなされている」と答えた教職員の割合 A 90%以上 B 80～90% C 70～80% D 70%未満				
	②【危機管理体制の徹底】 危機管理体制を整え、予防を含めた取組、迅速で適切に対処する。	教頭	【努力指標】 児童の安全・安心に関して、アンテナを高くし、組織的に迅速、適切に対処している。	【教職員アンケート】 「児童の安全・安心に関して、アンテナを高くし、速やかに報道相を行い、組織的に迅速、適切に対処している」と答えた教職員の割合 A 90%以上 B 80～90% C 70～80% D 70%未満				
	③【働き方改革の推進】 タイムマネジメントの意識を高め、教職員の専門性を生かし、業務改善の取組を推進する。	教頭	【努力指標】【成果指標】 教科担任制、行事や会議の精選・統合化、ICTの効果的活用、スキルの共有、業務の平準化に向けた取組等を行い、業務全体のスリム化を図ることで、時間外勤務時間の短縮を目指す。教職員一人一人がタイムマネジメントの意識を持ち、見直しを持って業務を行っている。時間外勤務時間も前年度同時期に比べ減少効果が現れている。	①【教職員アンケート】 ②【勤務時間調査】 ①「自身は、タイムマネジメントの意識を持ち、見直しを持って業務に取り組んでいる」と答えた教職員の割合 A ①90%以上かつ②の時間外勤務平均が前年度同時期に比べ減少 B ①80～90% C ①70～80% D ①70%未満				
2 確かな 学力の 育成	①【学力向上に向けての体制確立】 学力向上プランを有効的に活用し、基礎基本の定着と活用力の向上を図る。	教務	【成果指標】 学期末漢字・計算テスト、重点を置いた単元での単元テスト(算)での平均点が90点を超過している。	【3つの検証結果の組み合わせ】 ①学期末漢字テスト②計算テスト③重点単元テストの3つで、平均点が90点を超過し学級数以下の基準で評価し、その組み合わせでもって総合評価とした学級数 A 12学級 B 8～11学級 C 6～7学級 D 6学級未満				
	②【湯野小スタイルの深化】 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、学校研究に基づいた湯野小スタイルの授業実践に努める。	研究	【努力指標】 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、湯野小授業スタイルを具現化した授業づくりに取り組んでいる。	【児童アンケート】 児童アンケートで以下の項目で肯定的に解答した児童の割合 A 90%以上 B 80～89% C 70～79% D 70%未満 知・練習問題を解くことができている。 思、自分の考えを固く言葉や式で書いたり話したりする。 学分からなくても友達や先生の話聞いてがんばった。				
	③【GIGAスクール構想推進】 学習場面における効果的なICT活用に取り組み、GIGAスクール構想を推進する。	G I G A 推進教師	【努力指標】 児童の目標達成に向けた効果的なICT機器を活用した学習活動をよく行っている。	【能美市教員質問紙調査】 児童がICT機器を活用する学習活動(効果的な活用)を取り入れた指導をしているとした割合 A 90%以上 B 80～89% C 70～79% D 70%未満				
3 豊かな 心と 人間関係 の育成	①【不登校・いじめ対応】 児童理解や指導・支援の情報を共有し、全教職員で組織的な対応をとり、不登校やいじめの未然防止、早期対応に努める。	生徒指導	【満足指標】 安心安全な学校生活を送り、90%以上の児童が学校生活が楽しいと感じている。 学級に児童の居場所があり、一人ひとりが学級生活に満足している。	【児童アンケート・QUAアンケート】 「学校が楽しい」に「当てはまる+まあまあ当てはまる」と答える児童の割合 A 95%以上 B 85～94% C 70～84% D 70%未満 QUAアンケートで満足群に属する児童の割合 A 70%以上 B 50～69% C 40～49% D 40%未満				
	②【主体的に行動する児童会、学級会活動】 授業や学級活動、児童会活動等で、生徒指導の3機能を生かし、自己有用観や温かい人間関係を育む。	生徒指導	【努力指標】 クラス会議・学級活動・児童会活動に自分から進んで取り組み、楽しむことができる。	【児童アンケート】 「クラス会議や学級活動、学年や学級行事などに積極的に参加している」と答える児童の割合 A 90%以上 B 89～89% C 60～79% D 60%未満				
4 健やかな 体の 育成	①【体づくり】 児童が主体的に取り組む体づくりや体育的行事の工夫・実施に努める。	保健主事	【成果指標】 シャトルランと上体起こしの回数を全学級で1学期の記録より3学期の記録が5回以上上回ることができる。	【体力77取組】 目標を達成できた3年生以上のクラスが A 8学級以上 B 6学級以上 C 4学級以上 D 3学級以下				
	②【自己管理能力の育成】 感染症対策への意識を高め、自己管理能力を育成する。	保健主事	【成果指標】 健康指導部や児童保健委員会を感染症対策の意識を高め、感染症対策を意識した生活を送ることができる。	【児童アンケート・保護者アンケート】 「感染症対策を意識して学校生活を送っている」とした割合 A 90%以上 B 80～90% C 70～80% D 70%未満				
5 地域・ 家庭と の連携	①【ふるさと教育の推進】 コミュニティスクールを推進し、地域との連携・協働を図る。	教頭	【努力指標】 地域人材を活用した教科、学活、総合的な学習などの授業を行い、特色ある教育や専門的な指導を推進している。	【教員アンケート】 「地域人材を活用した授業を行うこと」によって、児童の学習活動が充実した」と回答した教師の割合 A 90%以上 B 80～90% C 70～80% D 70%未満				
	②【ふるさと教育の推進】 湯野っ子プランをもとに、地域の自然や文化、人材をいかしたふるさと教育を推進する。	教務	【努力指標】 ふるさとの人、もの、ことに関する学習の機会を持ち、ふりかえりを交流し合うことで、地域を大切に思う心情を育む教育を推進している。	【児童アンケート】 学校評価のアンケート「能美市や自分の住む町のことやよさについて知っている」と対して肯定的に答えた児童の割合 A 90%以上 B 80～89% C 70～79% D 70%未満				